

2018年 8月 3日

報道関係者各位

株式会社東急コミュニティー

～マンション大規模改修工事現場の安全確保に活用～
施工管理システム「Field's EYES」に『災害対応支援機能』を追加
災害時の迅速な対応による危険回避

株式会社東急コミュニティー（本社：東京都世田谷区、社長：雑賀克英）は、自然災害発生時におけるマンション大規模改修工事現場の安全確保に向け、施工管理システム「Field's EYES」に災害対応支援機能を追加し、迅速に対応することで危険回避につなげる運用を7月より開始いたしましたので、お知らせいたします。

・災害発生時の迅速な対応の必要性

当社はマンション約33万戸を管理する総合不動産管理会社です。年間約180件のマンション大規模改修工事も請け負っており、お客様の安全に十分配慮することが使命と考えております。特に、マンション大規模改修工事はお客様が住まいながら行う工事という特性上、台風や大雨等、自然災害発生時には、強風による足場の倒壊や資材の飛散等による第三者災害を防ぐため、迅速に危険回避の対策をとることが重要になります。



・災害対応支援機能の内容

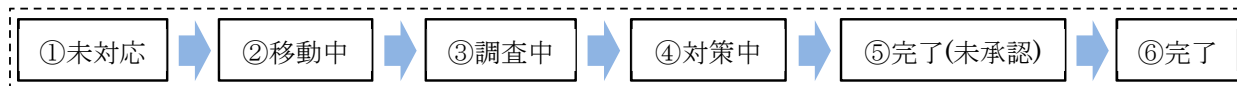
当社は2016年よりマンション大規模改修工事の品質管理向上のため、施工・進捗状況を遠隔地からでも確認することができる施工管理システム「Field's EYES」の運用を開始しました。

今回「Field's EYES」に追加した『災害対応支援機能』は、災害発生時、本社災害対策本部から工事担当者へ危険防止措置対応の指示を出し、その実施状況を一元把握するものです。

これまで災害時の対応は、本部よりメールで各担当に指示を出し、その結果を取りまとめることで状況把握していました。本システムでは、システムから全担当に一括で対応指示を出し、対応の進捗状況をシステム上で把握することができます。台風・大雨時には、天気予報データや雨雲レーダー等の気象情報を工事現場の地図に重ね合わせることもできるため、被害リスクを予測して事前の対応を指示。各現場の最寄りの工事担当者はシステム上にて応答のうえ、速やかに現場へ移動を開始し、予測される災害に適した対策を実施して、その進捗を本部が確認します。

本システムにより、迅速に危険回避の対策を行い、お客様の安全確保を徹底いたします。

<ステータス進行イメージ>



<台風事前対策の本機能利用イメージ> ※囲み内はステータスを表示

- ①未 対 応 災害対策本部がシステム上で気象情報を確認のうえ、未対応現場を把握し、タイムラインボード（連絡用チャット）で対応可能な工事担当者を一斉確認。
- ②移 動 中 工事担当者がタイムラインボードにて応答し、現場に移動開始
- ③調 査 中 現場にて対策必要箇所の調査開始
- ④対 策 中 足場や資材の状況を確認のうえ、必要に応じて対策
- ⑤完了(未承認) 本機能専用の災害用調査シートにて報告
- ⑥完 了 災害対策本部が報告内容を確認



本機能の画面イメージ

今後も、「Field's EYES」や本機能を活用し、工事品質を高めるとともに、お客様の安全確保につながるサービスの提供に取り組んでまいります。

・施工管理システム「Field's EYES」

施工管理システム「Field's EYES」とは、マンション大規模改修工事の品質向上を目的として、株式会社穴吹カレッジサービス（本社：香川県高松市、社長：大平康喜）と共同開発のうえ、2016年4月より運用を開始したシステム。

改修工事施工中、当社独自のチェックシートに沿って重点ポイントを確認・記録し、写真と合わせて報告する仕組み。施工状況や進捗状況を現場の工事担当者だけでなく、遠隔地にいる工事統括者や安全品質管理担当など複数の目で管理することができるため、工事品質向上を図ることができる。

【リリースに関するお問合せ】

経営企画部広報センター （担当：伊藤）